

No	質問内容	回答
全体について		
1	● 各学校で特定の企業が寄付講座の様なものを実施する、ということは難しいでしょうか？	どのような講座を実施するか(時間数、対象学年、毎年の開催可能性など)によって回答が変わります。各校に、産学連携の窓口がございますのでお尋ねいただけますと幸いです。
2	● これだけ素晴らしい教育された学生は実際に活躍しているのでしょうか？	5商船系高専の船員就職率は85%程度です。ほぼ全員が船員となる学校もあります。
3	● 現学生の本質、教育について理解できました。ではその成果、評価はどうなっていますか？また元学生として新卒学生との現場での仕事の上でGAPを感じていますが、企業はどう接していくべきでしょうか？報告の場と併せて、意見交換／参加型の場を設けてもよいのではないのでしょうか？	ご意見もつとです。私共も日々、学生との接し方についてアップデートしています。意見交換の場については、教員FDIにて毎年開催していますが、大規模な意見交換会をご要望でしたら改めてお問い合わせいただけますと助かります。
「海事・海洋分野の人材育成」：海事人材としてのグローバル力向上に向けた教育システムの開発		
4	● 国際インターンシップの課題として費用高騰を挙げられていましたが、特定の目的のために一般企業からの寄付を受けていただけるのでしょうか？	大変ありがたいお話です。寄付については、用途を特定していただくことは可能です。海事人材育成に関する寄付につきましては、富山高専総務課企画室にお問い合わせください。寄付の詳細については、 https://www.nc-toyama.ac.jp/research/kifu/ をご覧ください。
5	● 国際化教育は非常に重要であるが卒業生の半分が内航船に就職していることとのギャップは？	内航船に就職する学生にも国際性は必要であると考え教育を行っております。
「海事・海洋広報活動」		
6	● ポスター・イベントチラシへのQRコード掲載ですが、アクセス数などは調査されているのでしょうか？我々も今年から実施しています。	毎月アクセス数を調査しております。
7	● 各学校の紹介動画について、海洋少年団の生徒たちに見てもらい、意見を聞いてみたいと思っているのでしょうか？船のことを知らない人(子ども)に理解できるのかと気になりました。全く知らない中学生用もあればよいかと思いました。	ご質問ありがとうございます。各校の動画作成スタンスはあえて指定していません。中学3年で商船系高専を志望している生徒を意識して作成している高専もあれば、弓削のように小学生を意識して作成している高専もあります。WEBイベント(各校動画紹介)は、ほぼ経費なしで進めており、サブリーダーの弓削としては、あまり他高専に制約を課さない方が良く考えております。同じスタンスで動画を作成すると同様な動画が5つ作成される危険性もあり、各校のスタンスで動画を作成し、5つの動画全体で、小学生から大人まで商船系高専をアピール出来たらよいのかなと考えております。フォーラムでご覧いただいた動画はダイジェストであり、各動画は全く何もしらない子供たちにも分かり易い内容も十分含まれていると考えております。今後の動画作成については、サブプロジェクトのメンバー間で議論検討をしていきたいと考えております。
商船学科あるいは高等専門学校について		
8	● 日々、船主・船舶管理業に関する講義や授業はどの程度行われていますでしょうか？弊社でも新卒採用を行っているのですが、商船高専学生の方からの応募がほとんどありません。もちろん、皆さん船員になりたいということで商船高専に入学されていますし、弊社のアピールが足りていないのも承知しているのですが、採用を担当している者として、船主・船舶管理業を認知いただけていない様な印象を受けております。前述致しましたが、もし差支えが無い様でしたら、船主・船舶管理業について色々とお話できる様な機会を頂くということは可能でしょうか？お手数ですがご検討の程宜しくお願い申し上げます。	船主・船舶管理業に関する内容については、授業の一部の単元にあります。また、キャリア教育セミナー等で、外部の方からお話をさせていただく機会もございますが、学生にとっては、現場経験がなく、理解が難しいのが現状ではないかと感じております。お話を頂戴する機会については、どのような規模感で実施するかによって実現の可否が変わりますので、お問い合わせいただけますと助かります。

No	意見内容	コメント
全体について		
1	● 参考になる有意義な報告です。今後も継続してプロジェクトを進めてほしい	ありがとうございます。引き続き継続して事業を進めてまいります。
2	● カボタージュ制度の問題について、本フォーラムでも政府見解を求め、商船高等の教育目的とつきつりと整合をとるプロセスを計画的に推進するプロジェクトを設定して事に当たることを期待したい	ご意見ありがとうございます。カボタージュ制度について日本全体で活発な議論が行われている状況に関し、商船高等の教育目標と整合を取っていくことは重要でございますので、検討していこうと思っております。
3	● どの発表も大変興味深く、今後も継続していただきたい内容と思いましたが、プロジェクトの報告が10分程度、先生方が駆け足での発表となったことは非常に残念でした。コロナ禍を配慮されたのかと思われませんが、今後、もう少し、ゆとりの持ったプログラムとなるほうが望ましいです。	ご意見ありがとうございます。次回の開催時には留意したいと思っております。
4	● 会場出席者のご質問にあつたとおり、今後は卒業生を含めプロジェクトの成果または課題を付加して発信することが重要だと思います	ご意見ありがとうございます。卒業生とのかがわりについては検討をしたいと思っております。
5	● 色々難しい面もあるかと存じますが、第6回高専・海事教育フォーラムの開催の様子が、大手マスコミや地方紙(TVや新聞)で即日(当日の夜からでも)、報道や記事にされていない(取材の手配が難しかった?)のを寂しく感じました。	ご意見ありがとうございます。今回はPRTIMSで事前の情報を発信しておりましたが、ダイレクトにマスコミにアプローチすべく次回の開催時に活かしたいと思っております。
6	● 社会のグローバル化、技術革新についての取り組みは多々あるが、根本的な航海術などの技術を身につける取り組みが少ないように感じた。	ご意見ありがとうございます。その点については、基礎基本部分でございますので各校で取り組んでいるところでございます。
7	● 全員ではないが、発表内容は良いが読むだけまたは早口になり分かりにくいところがあった。	ご意見ありがとうございます。発表者へフィードバックしたいと思っております。
8	● 全国から集まるせっかくの機会ですので交流の場を設けても良いと思っております。	今回は、社会情勢により、残念ながら意見交換会を設けることはできませんでしたが、次回の開催時にはしっかりと検討します。
9	● 今回のフォーラムへは初めての参加でしたが、商船高等の方々の活動が大変興味深く聞かせていただきました。ただし、各プログラムの数が多く詰め込まれすぎたと思いますので、もう少し余裕を持った構成にしてはどうでしょうか？	ご意見ありがとうございます。次回の開催時には留意したいと思っております。
開催場所や開催方法について		
10	● 神戸での開催はありがたいのですが、フラットフロアでのほうが良いのではないのでしょうか。メモを取るのにデスクが欲しいです。	ご意見ありがとうございます。次回の開催時には検討したいと思っております。
11	● 神戸と東京との交互の開催をお願いしたいと思います。	ご意見ありがとうございます。今回は、初めての神戸開催でした、できるだけ交互に開催できるように検討してまいります。
12	● もう少し各報告に時間的余裕があってもよいのではと思いました。	ご意見ありがとうございます。次回の開催時には留意したいと思っております。
13	● 発表が駆け足だったので、もう少し、ゆとりのあるプログラムが良いかと思いました。	ご意見ありがとうございます。次回の開催時には留意したいと思っております。
14	● 内容的に、もう少し余裕を持った時間設定でも良いのでは？終日にするなど。	ご意見ありがとうございます。次回の開催時には留意したいと思っております。
開催日と時間帯について		
15	● もう少し早めが良いと思う	ご意見ありがとうございます。次回の開催時には留意したいと思っております。
16	● 国立高専の一般入試前日は多忙になっている教職員がいると思います。	ご意見ありがとうございます。日程調整についてはかなり困難な状況ですが、次回の開催時には留意したいと思っております。
17	● 「めざせ！海技者セミナー in KOBE」と重なったことが残念でした。	ご意見ありがとうございます。6月に日程を確定させましたが、今後は他のイベントとの重なりについても留意いたします。
「海事・海洋分野の人材育成」：海事・海洋分野の技術革新に対応した専門教材の開発		
18	● 最近スタディサブリの様に動画で勉強するスタイルがありますが、同じようなシステムに乗せれば若手の船員の資格取得率向上につながるのではないのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。現在は商船高専生に限定しておりますが、いずれは海事系教育機関や業界にも波及できればと考えており、ご助言を念頭に置きながらこの取り組みを継続してまいります。
19	● 山田先生が御示しの通り、授業および学校活動の半分が一般教養であり、一般教養の先生の協力ないしは先生の定着率や労働負荷次第でいかに変化すると感じる。	ご意見ありがとうございます。すべての専門科目が、一般科目で身に付ける知識や思考力などをベースに成り立っており、特に低学年時の一般科目の影響力は大きいと考えております。学生に良い学習環境を安定的に提供できるようなシステムづくりに、引き続き励んでいく所存です。
20	● 海技試験対策は、高専のみならず、海技大学の専攻科学生にも十分に活用できる内容と思えました。一層の海技教育機構との連携を望みます。	ご意見ありがとうございます。商船高専のみの取り組みで終わらせず、いずれは他の海事系教育機関に波及させたいと考えております。また海技教育機構のご協力をいただければと大変心強く、まずは連携の在り方について検討していきたいと思っております。
21	● フォーラムプログラム「海事・海洋分野の技術革新に対応した専門教材の開発」海技資格の取得に向けた本質的かつ効率的な学習を実現する支援システムの構築』についてですが、今後一級海技士の問題にまで取り組むことになれば、企業としても海上従業員のための理論復習になるので、会費をお支払いしても視聴権利を得たいと感じました。	ご意見ありがとうございます。海技試験対策において有用な教材があれば、船社にも必要とされる可能性があることが分かり、大変参考になりました。引き続き、この取り組みの推進に努めてまいります。
22	● 卒業後も海技士資格取得に向け、動画視聴できないか。	ご意見ありがとうございます。現在のシステムでは、対象は商船高専の在校生のみとなっております。いずれは他の海事系教育機関や業界にも波及できればと考えており、システムの再構成に努めてまいります。
「海事・海洋分野の人材育成」：海事人材としてのグローバル力向上に向けた教育システムの開発		
23	● 英会話に関しても部活で時間が取れないとの話がありましたが夜7-8時ごろ自宅から繋ぐシステムだと問題がありますか？学校で放課後にやろうとするから難しいのではないかと感じました。先生の時間外業務となってしまうのが問題であれば、時差を利用した海外の先生との契約などで実現出来ないだろうかと思いました。	ご提案ありがとうございます。部活学生に対してはアーカイブ化で対応予定ですが、夜の講座開講も検討してまいります。海外講師による講座開講については、すでに、ハワイとの英語セッションを実施していますが、時差を考慮すると、ヨーロッパで講師を探さずということになります。現在の講座は、外部講師だけでなく、教職員も開講を手伝いながら実施しております。夜の講座開講については、実現に向けて実施方法を見直し、同時に、海外講師による講座開講についても、費用と運用の両面から、実現の可能性を検討してまいります。
24	● 国際インターンに関し、世界の海事系大学や、WUとの連携は？ 国内商船系大学との連携も。	ご意見ありがとうございます。高専は大学院課程を有しておらず、IAMUに加盟することができません。しかしながら、国内外の大学との連携は極めて重要ですので、引き続き努力をしております。

No	意見内容	コメント
「海事・海洋広報活動」		
25	● 教員や保護者の意見が重要ということが非常に印象的で、考えさせられました。学生による動画が、とても新鮮で興味深かったです。船員が陸上職よりも給料が良い、休暇を連続して取れる(港で陸上職と同様の勤務ができる職種もある)ことをもっと宣伝しても良いかと思えます。	ご意見ありがとうございます。船員の生活(陸上含む)についてもPRしていきたいと思っています。
26	● 『全国の中学校へ配布する海事紹介ポスターの作成・配布』について、予算上、全国すべての中学校へ配布することは難しいと思いますが、海なし県に重点的に配布して欲しいと思います。	ご意見ありがとうございます。ポスター等につきましては、できる限り全国に配布しております。ちなみに、海なし県(栃木県、群馬県、埼玉県、山梨県、長野県、岐阜県、滋賀県、奈良県)からの志願者が海のある県と比較して特に少ない状況とは言えません。5商船系高専が日本の西側に位置しているため、志願者の少ない地域は東北となっております。広報としては、海のない山間部を含め、東北方面を攻めていけたらと考えております。
27	● 学生によるWebでの学校と生活の説明動画はとて良いと思います。ただし、もう少し質の良いものにして配信してもらったほうが良いと思いました。	ご意見ありがとうございます。動画の質について今後議論させていただきます。
28	● 小学生を対象とした出前授業は、高専・業界団体・各船社・官庁(含JIMETS)など様々な段階が行っています。これらの段階が連携してコラボすれば、目的が効率的に達成できると考えます。	ご意見ありがとうございます。様々な機関と連携できるよう努めてまいります。
29	● 広報イベント等は、高専だけでなく他の団体との連携を行い、海事産業全体のPRを行ってほしいでしょうか？	ご意見ありがとうございます。海事の啓発活動は、高専単独では困難です。様々な機関との連携を模索してまいります。
30	● 出前授業でVRを使用した船内見学をするのは効果的ではないでしょうか？何か一緒にできればいいです。	ご意見ありがとうございます。VRは5商船系高専練習船5隻すべてに既にございます。VRの体験イベントも3年前程前に実施済みであります。ただあまりの参加者が少なく、イベントの周知にも問題があったのではないかと考えております。VRについては今後どのように活用すべきか検討してまいります。
31	● 海技教育財団の奨学金制度などは両親・先生への説明としては有効となり得ますでしょうか？	ご意見ありがとうございます。奨学金制度については説明として有効であると考えます。奨学金制度等につきましても今後イベント等で周知して参りたいと考えております。
32	● 学生主体のWebでの海事紹介イベントは、中学生や保護者、教員にとって、大変アクセスしやすく、また実感がイメージやすく、有効な方法と感じられました。今度さらに多くの人々に興味を持ってもらうためには、一般のメディアへの売り込みやアピールを考えてもいいかと思えます。	ご意見ありがとうございます。WEBイベントは遠隔地の子供たちにとって大変有効な広報の手段だと考えております。イベント周知について今後議論検討していきたいと考えております。

連携機関からの意見

33	● フォーラムプログラム「技術革新や環境対応に適合する海事教育と船員の魅力を伝える広報活動への期待」で登壇された各団体(日本船主協会、全日本船舶職員協会、全日本海員組合、国際船員労務協会、海技教育機構、日本海洋少年団)さんより、当日、実際にお話された内容の要約版、できれば各団体でやったことを文字数にて「3行ずつ(3項目ずつ)」くらいでまとめた資料が欲しいです。もし可能でしたら、その資料を、様々な場面で【第6回高専・海事教育フォーラムに出席して聴講された関係団体さんへ～のようなご意見をお持ちです】といった形で、海事関係(船員の広報関係)について紹介するなど、活用させていただきたいです。	ご意見ありがとうございます。連携機関に確認いたします。
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------

商船学科あるいは高等専門学校についての意見

34	● 海事関係団体との合同のイベント等も検討していただけたらと思います。	ご意見ありがとうございます。いくつかのイベントは開催しておりますが、引き続き連携を深め合同での開催を進めていこうと思います。
35	● 小さな内航船主に高等専門学校卒の優秀な学生が新卒で回ってくることは少ないです。弊社の社員は海技免状4級を取得し入社しますが、3級を取得するのにも苦労をしていると聞きます。学生向けに開示している動画教材を有料でいいので公開出来ないものか、検討頂けると嬉しいです。	ご意見ありがとうございます。現在は商船高専生に限定しておりますが、いずれは海事系教育機関や業界にも波及できればと考えており、コンテンツを充実させて公開に問題がないようでしたら公開したいと考えています。
36	● 大手海運会社は、一般の大学卒業生、船員として採用、船長になっている、高専の存在価値が低下しないように海事教育を充実して下さい。	ご意見ありがとうございます。頑張っております。
37	● 産官学の連携が必要で、海事関連に夢を抱いて入学した学生が、モチベーションを下げることなく卒業し、就職出来る世の中になればなりません。	ご意見ありがとうございます。おっしゃる通りだと思います。産学官連携については、引き続き強固な関係を築いてまいります。
38	● 海上就職率が約85%のごとで商船系5高専の取組が実になっていると感じます。就職した卒業生のフォローも充実していくことを願っています。	ご意見ありがとうございます。頑張っております。
39	● 私が卒業した当時より多くのITスキルを駆使して学生たちの教育に尽力されており素晴らしいと感じました。現在の子供たちはAIを駆使するスキルについて深い知識を持っておりますが、根本的な知識・技術、どのように技術が発展してきたかの歴史などの教育もこれ以上必要になってくるかと思えます。教師の皆様のご尽力には頭が下がります。今後ともよろしくお願いたします。	ご意見ありがとうございます。頑張っております。
40	● 個人的には商船学科、高等専門学校の必要性は十分理解しているが、そもそも高専自体の存在を知らない人が多いと思う。小学校あるいは中学校で、進路を決める際に高専のことを説明しているのか疑問である。今回のような話は、ぜひ全国の小中学校の教員に聞いて欲しい。	ご意見ありがとうございます。そのような努力を引き続き行っております。
41	● 「小中学生向けの社会科の授業に利用できる教材作成」のみならず、今後は、一般社会人向けで、一般の人が視聴してみようと思える動画や、手に取ってみたいような書籍等を、商船学科や高等専門学校の先生や職員の方が制作したのを見てみたいです。	ご意見ありがとうございます。一般の方も手に取れる教材として、マリタイムカレッジシリーズ(海文堂)を刊行しております。特に「海しごと、船しごと。」は幅広い読者を想定して制作した書籍となっております。ぜひご覧ください。
42	● 高専の先生方が海事教育、学校存続のため頑張られている熱意が伝わりました。1、2級海技免状は在学中に筆記取得が望ましいですが、スキルアップのため就職してからでも修業は続きます。もちろん勉強は大事ですが、学生には部活やスポーツ、仲間作りにも打ち込んでいただけたらと思います。時代は変わりましたが、集団生活が高専の良いところだと思います。	ご意見ありがとうございます。頑張っております。
43	● 最近の商船高専に限らず新卒採用者で即戦力となる人材がほとんどいない。研修期間もほとんど長くなり、精神力が弱い学生がほとんどである。基礎的なスキル(コミュニケーション力、仕事力)の強化を図っていただきたい。	ご意見ありがとうございます。この件に関しましては、私どもも大変悩みながら、手を変え品を変え努力しております。何とかしなければならぬと思っています。
44	● 内航船では新入社員としては商船高専出身者より水産系学生のほうが「やる気」があり定着率が高い。	ご意見ありがとうございます。頂戴したご意見は真摯に受け止めたいと思います。
45	● 教員は、もっと現場の声を聴き、現状を知るべきと感じています。あまりに学生が分かっていないことが多いと感じています。	ご意見ありがとうございます。頂戴したご意見は真摯に受け止めたいと思います。
46	● 学費・大学推薦の道もあることも、実情を保護者に話すことも必要かと思えます。学校とは関係ないですが、魅力ある船員、給与が良ければ人は集まります。給与を上げる努力が必要です。	ご意見ありがとうございます。保護者への説明はできるだけ密に行っておりますが、さらにしっかりと説明してまいります。
47	● 商船系学校を卒業した人の強みは「気力・体力・根性」にあると思います。気力:常に高い理想や目標を掲げ、それに向かって自分を高めようとする心や意思。体力:病気になる健康な管理力と文字通りの体力。根性:大変な目に遭っても負けない強い精神力。これだけは継続してほしいと思います。	ご意見ありがとうございます。この件に関しましては、私どもも大変悩みながら、手を変え品を変え努力しております。何とかしなければならぬと思っています。
48	● 高専までの人材育成ではなく高専からの人材育成を狙った経営方針を期待しています。	ご意見ありがとうございます。現場の教員には回答ができない間ですが、しかるべき部署にフィードバックしたいと思います。
49	● 忍耐強く会社で居続けられる人材の教育をお願いします。	ご意見ありがとうございます。この件に関しましては、私どもも大変悩みながら、手を変え品を変え努力しております。何とかしなければならぬと思っています。
50	● 最近の若手船員の離職率/定着率の低下について、船会社では苦慮するところである。原因として、現場に馴染めないコミュニケーション不足、また世代ギャップ(指導しているつもりが当人はバワハラだと受け取る)等、いわゆる「打たれ弱い」傾向があることは、今に始まったことではありません。このような実情において、学力の向上に取り組みと同時に、人間/船員育成についてもよろしく願います。	ご意見ありがとうございます。この件に関しましては、私どもも大変悩みながら、手を変え品を変え努力しております。何とかしなければならぬと思っています。
51	● 学生生活の中で社会に出てから困らない適度の資格、教養、一般的なルール等を身につけてほしい。高度な技術、システム等も必要ですが基礎的なことをしっかりと教育してほしいと思います。	ご意見ありがとうございます。この件に関しましては、私どもも大変悩みながら、手を変え品を変え努力しております。何とかしなければならぬと思っています。
52	● 卒業生の半分が内航に就職している中で高専がどういった方向を目指すのかという時期にあるような気がします。	ご意見ありがとうございます。現場の教員には回答ができない間ですが、しかるべき部署にフィードバックしたいと思います。